

シヴァ・パンチャークシャラ・ストートラム

第1節

नागेन्द्रहाराय त्रिलोचनाय भस्माङ्गरागाय महेश्वराय ।
नित्याय शुद्धाय दिगम्बराय तस्मै नकाराय नमः शिवाय ॥

蛇の王であるナーゲンドウラを首に巻き、
三つの目を持ち、神聖な灰で身を飾る神、
純粹なる者、大空を装束としてまとう永遠の神、そのシヴァ神に敬意を。
音節「ナ」の形を取るシヴァ神に、私は敬意をささげる。

第2節

मन्दाकिनीसलिलचन्दनचर्चिताय नन्दीश्वरप्रमथनाथमहेश्वराय ।
मन्दारपुष्पबहुपुष्पसुपूजिताय तस्मै मकाराय नमः शिवाय ॥

ガンジス川の水とビャクダンの練り香で身を飾り、
聖なる雄牛、ナンディの王であり、
従者はプラマタである。
マンダーラの木の花を含む
無数の花々で崇拝されている、シヴァ神に敬意を。
音節「マ」の形を取ったシヴァ神に、私は敬意をささげる。

第3節

शिवाय गौरीवदनाब्जवृन्द-सूर्याय दक्षाध्वरनाशकाय ।
श्रीनीलकण्ठाय वृषध्वजाय तस्मै शिकाराय नमः शिवाय ॥

ハスの庭のようなガウリーの花の光輝く顔を作る太陽であり、
ダクシャの犠牲の破壊者、
旗には雄牛の紋章を有し、
光輝く青い喉を持つ、シヴァ神に敬意を。
音節「シ」の形を取ったシヴァ神に、私は敬意をささげる。

第4節

वसिष्ठकुम्भोद्भवगौतमार्य-मुनीन्द्रदेवार्चितशेखराय ।
चन्द्रार्कवैश्वानरलोचनाय तस्मै वकाराय नमः शिवाय ॥

インドラ神とその他の神々、および高貴な賢人ヴァシシュタ、アガステヤ、
そしてガウタマに崇拝され、
その目は太陽、月、そして炎である、
神々の中の神に敬意を。
音節「ヴァ」の形を取ったシヴァ神に、私は敬意をささげる。

第5節

यक्षस्वरूपाय जटाधराय पिनाकहस्ताय सनातनाय ।
दिव्याय देवाय दिगम्बराय तस्मै यकाराय नमः शिवाय ॥

ヤクシャの姿を取り、
その髪は長く波打ち、手には三叉(さんさ)の矛を握る神、
大空を身にまとった永遠で神聖なる者に、敬意を。
音節「ヤ」の形を取ったシヴァ神に、私は敬意をささげる。

第6節

पञ्चाक्षरमिदं पुण्यं यः पठेच्छिवसन्निधौ ।
शिवलोकमवाप्नोति शिवेन सह मोदते ॥

シヴァ神の前で、この称賛すべき5音節のマントラを唱える者は、
自らの王国に到達し、そこで神と共に大いに喜ぶだろう。



デザインと翻訳© SYDA Foundation®.著作権所有。